

化学物質等安全性データシート

作成：2011.3/31

【1. 製品及び会社情報】

製品名 : パーカシット ZDBC
会社名 : 株式会社テスコ
住所 : 東京都千代田区岩本町 3-10-13 幸ビル 2F
担当部門 : 営業部
担当者 : 玉置 隆明
電話 FAX 番号 : TEL: 03-5835-2365 FAX: 03-5835-23

【2. 危険有害性の要約】

GHS分類

(物理化学的危険性)

火薬類	「分類対象外」
可燃性・引火性ガス	「分類対象外」
可燃性・引火性エアゾール	「分類対象外」
支燃性・酸化性ガス	「分類対象外」
高圧ガス	「分類対象外」
引火性液体	「分類対象外」
可燃性固体	「分類できない」
自己反応性物質及び混合物	「分類対象外」
自然発火性液体	「分類対象外」
自然発火性固体	「区分外」
自己発熱性物質及び混合物	「分類できない」
水と接触して可燃性・引火性ガスを発生する物質及び混合物	「区分外」
酸化性液体	「分類対象外」
酸化性固体	「分類対象外」
有機過酸化物	「分類対象外」
金属腐食性物質	「分類できない」

(健康に対する有害性)

急性毒性 (経口)	「分類できない」
急性毒性 (経皮)	「分類できない」
急性毒性 (吸入：ガス)	「分類対象外」
急性毒性 (吸入：蒸気)	「分類できない」
急性毒性 (吸入：粉塵、ミスト)	「分類できない」

皮膚腐食性・刺激性	「区分外」
目に対する重篤な損傷・目刺激性	「区分外」
呼吸器感作性	「分類できない」
皮膚感作性	「区分1」
生殖細胞変異原性	「分類できない」
発がん性	「分類できない」
生殖毒性	「分類できない」
標的臓器・全身毒性（単回暴露） 全身毒性	「分類できない」
標的臓器・全身毒性（反復暴露）	「区分2」
吸引性呼吸器有害性	「分類できない」
（環境に対する有害性）	
水生環境有害性（急性）	「区分1」
水生環境有害性（慢性）	「区分1」

GHS ラベル要素

シンボル



注意喚起語

【警告】

【警告】

【警告】

危険有害性情報

- ： ① アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- ② 長期にわたる又は反復暴露による臓器（腎臓、肝臓）の障害のおそれ
- ③ 水生生物に非常に強い毒性
- ④ 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

- 「安全対策」： ① すべての安全注意（MSDS等）を読み理解するまで取り扱わない事。
- ② この製品を使用する時には、飲食または喫煙をしない事。
- ③ 取扱い後は手などをよく洗う事。
- ④ 汚染された作業衣は作業場から出さない事。
- ⑤ 保護手袋、保護眼鏡、保護面、保護衣、呼吸保護具を着用する事。
- ⑥ 屋外又は換気の良い場所のみで使用し、ミスト、蒸気の吸収を避ける事。
- ⑦ 皮膚への接触を避ける事。
- ⑧ 環境への放出を避ける事。
- 「応急措置」： ① 飲み込んだ場合、口をすすぐ事。

- ② 気分が悪い時は、医師に連絡する事。
- ③ 吸入した場合、被災者を空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる事。
- ④ 皮膚についた場合、多量の水と石鹼で洗う事。
- ⑤ 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断・手当てを受ける事。
- ⑥ 汚染した衣類は、再使用する前に洗濯する事。
- ⑦ 目に入った場合、水で数分間注意深く洗う事。コンタクトレンズを使用している時には、容易に外せる場合には外す事。その後、洗浄を行う事。
- ⑧ 目の刺激が続く場合は、医師の診断・手当てを受ける事。
- ⑨ 漏出物を回収する事。

保管 : 保管場所に施錠をする事。

廃棄 : 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託する。

【3. 組成・成分情報】

組成物	CAS No.	含有量 (%)
ジブチルジチオカルバミン酸亜鉛	136-23-2	96 - 99
官報告示整理番号 : (2) - 2 1 2 2		
白灯油	8042-47-5	1 - 2

【4. 応急措置】

吸入した場合 :

- ① 吸入した場合、被災者を空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
- ② 気分が悪い時は、医師に連絡する。

皮膚に付着した場合 :

- ① 皮膚についた場合、多量の水と石鹼で洗う。
- ② 汚染した衣類は、再使用する前に洗濯する。
- ③ 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断・手当てを受ける。

目に入った場合 :

- ① 目に入った場合、水で数分間注意深く洗う事。コンタクトレンズを使用している時には、容易に外せる場合には外す事。その後、洗浄を行う。
- ② 目の刺激が続く場合は、医師の診断・手当てを受ける。

飲み込んだ場合 :

- ① 飲み込んだ場合、口をすすぐ。
- ② 気分が悪い時は、医師に連絡する。

医師に対する特別注意事項：

- ① 症状にそった処置をする。
- ② 飲み込んだり、吸入したりあるいは皮膚吸収に晒された場合には、アルコールを受け付けなくなる原因となる事がある。(酒止め効果)

【5. 火災時の措置】

- 引火点：108℃
- 引火点測定法：タグクローズドカップ法(TCC)
- 自己発火点：400℃
- 最低爆発限界(LEL)：20g/m³
- 最大爆発限界(UEL)：データなし
- 消火剤：水霧、泡、二酸化炭素、ドライケミカル
- 使ってはならない消火剤：棒状水の使用は、火災を拡大し危険な場合がある。
- 火災時の特定危険有害性：本製品が火災にあった場合、一酸化炭素・NO_x・SO_x等の有害ガスの発生が起こることがある。
- 特有の消化方法：① 安全な距離そして防護の出来ている場所から消火作業を行う。関係者以外の立ち入りを禁止する。
② 火災に晒された表面を冷却する為水霧を使用する。
③ 火災での分解物は、有毒ガスを生成する。
④ 流出した水が、排水溝など公共施設に流れ込まないようにする。
- 消火を行う者の保護：消防士は、十分な防護性そして送気式呼吸装置の完備した防護衣を着用する。

【6. 漏出時の措置】

- 人体に対する注意事項：作業に際しては、風下を避け、保護具を着用するなどして、粉塵や蒸気を吸入したり、皮膚に付着しないようにする。
- 環境に対する注意事項：粉塵が、下水道・河川等に流出し、二次災害・環境汚染を起こさないよう注意する。
- 除去方法：① 目、皮膚及び衣服を防護する為、防護性の高い保護具を着用する。
② 粉塵の発生を避ける。
③ スコップ、箒又はシャベルで集め、廃棄用の密閉性のある容器に入れる。
④ 毀れた場所を隔離し、摩擦・衝撃・熱・電源を取り除く。
⑤ 水の使用によって毀れた製品を広げてはならない。

二次災害の防止策 : 特になし

【7. 取り扱い及び保管上の注意】

取り扱い

- (技術的対策) ① 皮膚、目、作業衣に付着しないよう注意する。
② 暴露防止の為、保護具を着用して作業を行う。
- (局所排気・全体換気) 局所排気・全体換気等適切な換気ができないところでは
取り扱わない。
- (注意事項) ① 仕事が終わった後、石鹼を使用し手などを洗う。
作業着は毎日他の衣服と別に洗濯する。
② 飲食、チューインガム、喫煙、トイレの前に手を洗う。
③ 粉塵の発生を避け、粉塵を吸わないよう注意する。
④ 梱包材を再使用してはならない。
⑤ 使用しない製品は、梱包材に保管する。
⑥ 使用しない時には、梱包材を密閉しておく。

保管

- (適切な保管条件) 冷乾燥場所、又、換気の良い場所に保管する。
- (技術的対策) ① 強酸化剤から離して保管する。
② 直接太陽光に晒さないよう注意する。

安全な容器包装材料 : 一般的な梱包材料を使用できる。

【8. 暴露防止及び保護措置】

- 設備対策 : ① 本製品使用において爆発限界で空気汚染を制御する為に、
局所用の換気装置を使用する。
② 適切な換気が、爆発限界以下に粉塵濃度を保つ事ができる。
③ 換気システムからの排気が、大気汚染防止法に遵守できる。
④ 発火源を取り除く。

管理濃度 : 設定されていない。

許容濃度

- 日本産業衛生学会 : 第3種粉塵（その他の無機及び有機粉塵）として
吸入性粉塵； $2\text{mg}/\text{m}^3$ 、総粉塵； $8\text{mg}/\text{m}^3$
- OSHA : 吸入性粉塵； $5\text{mg}/\text{m}^3$ 、総粉塵； $15\text{mg}/\text{m}^3$
- ACGIH : 他に分類されない不溶性粒子（PNOC）として
吸入性粉塵； $3\text{mg}/\text{m}^3$ 、総粉塵； $10\text{mg}/\text{m}^3$

保護具

呼吸器の保護	: 製品の吸入に晒される状況下では、適切な呼吸保護具を着用する。防塵マスク又は簡易防塵マスク
手の保護	: ① 標準の工場作業用のゴム手袋を着用する。 ② 全ての清潔で浸透性のない手袋であれば問題がない。
目の保護	: 接触に対する保護の為、安全眼鏡やゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護	: ① 通常の作業衣及び安全靴を着用する。 ② 再使用する前に汚れた作業衣を洗濯する。

【9. 物理的及び化学的性質】

形状	: 粉
色	: オフホワイト
臭い	: 微か
pH	: データなし
比重	: 1.27 (20℃)
密度	: 1270 Kg/m ³
嵩密度	: 330-370 Kg/m ³ (20℃)
融点	: 100℃
沸点	: 296℃
蒸気圧	: 5.8E-0.11 mmHg (25℃)
蒸気密度	: データなし
水への溶解性	: 0.01 mg/l (25℃)
溶解性	: ベンゼン、二硫化炭素、油脂やアセトンなどの有機溶剤に可溶
粘度	: データなし
その他	: 亜鉛含有量 = 13.5-14.8%
分子量	: 474.1
分子式	: C ₁₈ H ₃₆ N ₂ S ₄ ·Zn
分配係数	: log Pow = 7.04
分解温度	: データなし

【10. 安定性及び反応性】

安定性	: ① 室温で梱包材に密閉してあれば安定である。 ② 通常の手扱い、使用及び輸送下で安定である。
重合の危険性	: 重合しない
避けるべき条件	: ① 液体塩素や濃縮した酸素等の強酸化剤との接触を避ける。 ② 熱・スパーク・火との接触を避ける。
避けるべき材料	: 強い酸化剤、酸
危険有害な分解性生物	: 一酸化炭素、NO _x 、SO _x 、毒性のある亜鉛の蒸気

追加情報 : 現在のところ有用な情報なし

【11. 有害性情報】

- 急性経口毒性 : ラット（経口LD50） > 5000 mg/kg
分類できない
- 急性経皮毒性 : ウサギ（経皮LD50） > 2000 mg/kg
分類できない
- 急性吸入毒性 : データなし
分類できない
- 臓器/暴露の
基本的ルート
摂取 : ① アルコールを受け付けなくなる原因となる事がある。
（酒止め効果）
② 頭痛、めまい、むかつき、吐き気、胃腸への刺激を起こす
事がある。
③ 飲み込んだとしても実際には無毒である。
- 皮膚腐食性/刺激性 : ① アレルギー皮膚反応を起こす事がある。
② 長期の接触で脱脂症状を起こすことがある。
③ 区分外
- 目に対する重篤な損傷：
・目刺激性 ① 目に中程度の刺激を与える事がある。
② 症状としては、目が赤くなったり、はれ上がったり、痛み
が出たり、涙が出たりします。
③ 区分外
- 呼吸器感作性又は
皮膚感作性 : ① 本製品は、動物実験により、皮膚に対するアレルギー作用
が認められた。
② 区分1（皮膚感作性）
- 生殖細胞変異原性 : ① サルモネラ菌を用いたAMES試験の結果、陰性と報告
されている。
② 分類できない
- 発がん性 : ① 本製品及び0.1%あるいはそれ以上含有する成分は、
発癌性リストあるいは発癌性の疑いのある製品リスト
にも載っていません。
② バクテリア及びイースト菌を使用した試験では、陰性で
あった。
③ 分類できない
- 生殖毒性 : ① 動物実験において、生殖性あるいは出産後の発育に何の影響

も与えなかった。

- ② 分類できない
- 特定標的臓器/ : ① データなし
- 全身毒性 (単回暴露) : ② 分類できない
- 特定標的臓器/ : ① 15匹ずつの雌雄のラットに、100, 500, 2500ppmを毎日17
全身毒性 (反復暴露) : ① 15匹ずつの雌雄のラットに、100, 500, 2500ppmを毎日17
習慣に亘って経口投与した試験では、高暴露(2500ppm)
グループにおいて、体重の減少(雌)、食餌摂取量の減退、
腎臓と肝臓の重量増加が認められた。
- ② 区分2
- 吸引性呼吸器有害性 : ① データなし
- ② 分類できない

【12. 環境影響情報】

- 魚類に対する急性毒性 : 96時間-LC50 (虹鱒) : 520 mg/l
96時間-LC50 (ブルーギル) : 880 mg/l
- 甲殻類に対する急性毒性 : 48時間-EC50 (ミジンコ) : 0.74 mg/l
- 藻類に対する急性毒性 : データなし
- 水生環境有害性 (急性) : 分類できない
- 水生環境有害性 (慢性) : 分類できない
- 残留性/分解性 : データなし
- 生体蓄積性 : データなし
- 土壤中の移動性 : データなし
- 分配係数 (オクタノール/水) : $\log P = 7.04$

【13. 廃棄上の注意】

- 製品の廃棄方法 : ① 本製品は、有害性のない廃棄物になる。
② 地方自治体の条例を遵守して廃棄する。
③ 国及び地方自治体の法令により承認された廃棄処理業者に委託する。
- 梱包材料の廃棄方法 : ① 国及び地方自治体の法令により承認された廃棄処理業者に委託する。
② 梱包材の再使用はしない。

【14. 輸送上の注意】

- 国際規制
- 国連分類 : 9

国連番号 : UN3077
品名 : ジブチルジチオカルバミン酸亜鉛
容器等級 : III
海洋汚染物質 : 該当する

国内規制

陸上輸送 : 消防法、毒劇物取締法の輸送規制に該当しない。
海上輸送 : 船舶安全法に基づいた表示と運搬方法が必要。
航空輸送 : 航空法に基づいた表示と運搬方法が必要。

輸送の特定の安全対策及び条件

: 容器（主に紙袋）が破損しないよう丁寧に扱う。
荷崩れや落下事故を起こさないよう、荷造りを十分にした上で積み込む。
水ねれを避け、直射日光が当たらないようにする。

緊急時往診指針番号 : 171 低、中程度の有害性物質

【15. 適用法令】

化審法 : 該当しない。
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR) : 該当しない。
労働安全法 : 該当しない。
毒物及び劇物取締法 : 該当しない。
消防法 : 該当しない。
船舶安全法 : 危規則第2, 3条危険物告示別表1、
有害性物質 環境有害性
海洋汚染防止法 : 施行規則第30条の2の3（危規則告示別表
第1備考2（8）の基準を満たすもの）
海洋汚染物質
航空法 : 施行規則第194条危険物第1項第9号
その他の有害物質 環境有害物質
港則法 : 該当しない。
道路法 : 該当しない。
水質汚濁防止法 : 該当しない。
下水道法 : 該当しない。
水道法 : 該当しない。
廃棄物処理に関する法律 : 該当しない。
外国為替及び外国貿易法 : 輸出貿易管理令
別表1の16（キャッチオール規制）

【16. 他の情報】

Hazard Rating System :

HMIS Classification : Health 1, Flammability 1, Reactivity 0

NFPA Rating : Health 1, Flammability 1, Reactivity 0
